



渡辺 俊彦

町長施政方針に示された、高崎玉村スモールC周辺の土地利用計画案の作成について

町 引き続き県との協議を進めていく

Q 施政方針の中で示された高崎玉村スモールC周辺の土地利用計画案の作成は、この地域の20ヘクタール開発の市街化区域編入に向けた一環であるか。

〔町長〕 昨年度、スモールC周辺地区まちづくり協議会から「アウトレットモールによる商業系の土地利用」の提言を受け、現在県と協議を進めている。この地域は、県の都市計画区域マスタープランでは業務流通系の産業構想拠点として位置づけられており、市街化区域編入を進めるためには県マスタープランとの整合が必要となる。本年度は、概況等の整理、アウトレットモールの必要性・妥当性等について整理を行い、県マスタープランへの位置づけについて県へ調整をお願いしている。平成27年度に県はマスタープランの改正を予定している。アウトレットモールへの土地利用計画案の作成と実現化に向けた検討を行い、引き続き県との協議を進めていく。

Q 東毛広域幹線道路の余剰地に、太陽光発電システムを設置する考えはないか。



河津桜の植樹が計画されている東毛広域幹線道路の未利用地

〔町長〕 県からは、道路として利用されない部分は、将来交通需要に対応するための用地と聞いている。景観や自然環境に配慮し、藤岡大胡線からたまむら道の駅（仮称）までの間は、河津桜の植樹を行う計画である。自然環境と調和のとれた町のシンボル道路としていきたい。未利用地については、県と協力し、町活性化のため有効活用していく。



そこが聞きたい一般質問

進捗状況や今後の予定は？

一般質問は3月12日・14日の2日間行われ、10人が登壇しました。町長施政方針のほか、観測史上記録的な積雪量となった2月の大雪被害に関する内容に質問が集中しました。質問と答弁を要約してお知らせします。

◎記事掲載あり◎記事掲載なし

渡辺俊彦議員 …… 8ページ

- ◎平成26年度施政方針について
- ◎再生可能エネルギーに対する町の取り組みについて
- ◎東毛広域幹線道路の余剰地の利用について
- ◎2月の大雪時の町の対応と町民の反応、今後の教訓について

島田榮一議員 …… 9ページ

- ◎平成26年度施政方針について
- ◎大雪による農業被害の対応について
- ◎玉村町経営改革実施計画の検証について

石内國雄議員 …… 10ページ

- ◎施政方針について（開発要件緩和・公共交通）
- ◎大雪による被害に対する具体的な対策は何か
- ◎保育所保育料の軽減を図る考えはあるか
- ◎平成27年度より実施される、児童館の利用者範囲の拡大への対策は何か

筑井あけみ議員 …… 10ページ

- ◎平成26年度施政方針について
- ◎玉村町公民館の分館の機能充実を図るため施設整備の構築を求める

斉藤嘉和議員 …… 11ページ

- ◎2月の大雪による被害の状況と今後の支援策について
- ◎ふるさと寄附（ふるさと納税）の現状について

原 秀夫議員 …… 12ページ

- ◎災害対策のさらなる強化について

宇津木治宣議員 …… 12ページ

- ◎高崎玉村スモールC周辺の土地利用計画について
- ◎文化センター周辺地区の住宅開発について
- ◎地区計画や大規模指定既存集落の指定など、市街化調整区域の開発要件緩和の方策について
- ◎2月14、15日の豪雪被害への対応策について

三友美恵子議員 …… 13ページ

- ◎平成26年度施政方針について
- ◎子育て支援施策の一元化を求め

町田宗宏議員 …… 14ページ

- ◎平成26年度施政方針について（町の人口減少に対する危機感がない）
- ◎国や県等の事業を誘致、利活用し、町発展の礎とせよ
- ◎大雪による被害に対する補償に万全を期せ

笠原則孝議員 …… 15ページ

- ◎町内の観光名物の掘り起こし及び広幹道端の余地の利用について
- ◎道の駅（物産館）の運営母体、事業方法、駅長の人選等は決まっているのか
- ◎住民監査請求による訴訟の最終判決について
- ◎観測史上最高の大雪による町の対応及び被害施設への支援等の考えはあるのか



島田 榮一

大雪被害への対応と経営改革の成果はいかに

町 できる限りの支援を検討する
経営改革の成果は上がっている

Q 本年度予算の最大の目玉は道の駅建設である。町長の意気込みは。

〔町長〕 広い駐車場きれいなトイレ、町の情報発信基地、町の特産品の販売等、町が誇れる道の駅にしたい。

Q 大雪被害への対応は。

〔町長〕 県・JAと連携しながら、町としてどの程度まで支援できるか検討したい。

Q 少子高齢化の進展で、介護や高齢者に関する仕事量は増大している。課の再編等は考えないか。

〔町長〕 今のところ考えていないが、今後検討したい。

Q 定年退職者の再雇用は、どのような部署でどのような仕事を考えているか。

〔町長〕 過去の担当業務・知識・経験・意欲を考慮し、適材適所で考えたい。

Q 「住民が主役の協働のまちづくり」は、成果が出たか。

〔町長〕 ボランティア団体やNPOの自立支援等、セミナーや交流会等で着実に成果は上



被災したビニールハウス

上がっているものと考える。

Q 健全財政を維持できた一番の要因は何か。

〔町長〕 住民ひとり1スポーツの普及、経営改革の計画の公表、及び箱物をつくらなかったことと考える。

Q 経営改革町民会議のその後はどうなっているか。

〔町長〕 平成25年11月に5期目の新体制が発足した。今後の町づくりの提言をしていただく予定である。

会等で着実に成果は上

上がっているものと考える。